

安倍政権の「積極的平和主義」は日本をどこへ導くか？

解釈改憲で、海外で戦争できる国へ

講師 大内要三さん (日本ジャーナリスト会議会員、豊玉在住)

いま、安倍政権によって、集団的自衛権行使の容認が閣議決定され、憲法9条の戦争放棄の条項がないがしろにされ、日本が海外で戦争ができる国づくりが進められようとしています。消費税増税、TPP交渉による経済破壊、教育再生の名による教育破壊などが進められようとしている中、防衛・外交政策の面でも大きな転機を迎えようとしています。一貫して日本の安全保障政策を研究していらしたジャーナリストの大内要三さんに解説・問題提起をしていただきます。

日時 2014年5月17日(土)

午後1時～2時半

会場 職員研修所

資料代 300円

(終了後、文化の会の総会、懇親会が行われます)

